

形 L32-302

油槽キット

部品交換要領書

本部品交換要領書は下記メンテナンスキットの品番に対するものです。
お手元のメンテナンスキットの品番が、下表内にあることを確認ください。

メンテナンスキットの品番
MK0671、MK0672、MK0673、MK0674、MK0729、MK0730、MK0731、MK0732、MK0733

[ご注意]

ご注文・ご使用に際しては下記 URL により「ご注文・ご使用に際してのご承認事項」を必ず読んでいただきたくお願い申し上げます。

<https://atc.azbil.com/jp/product/cp/order.html>

この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

本資料からの無断転載、複製はご遠慮ください。

アズビルTACO株式会社 <https://atc.azbil.com/>

2013 年 4 月 1 日、TACO 株式会社はアズビル TACO 株式会社へ社名を変更いたしました。
東京都板橋区高島平 9-27-9 TEL: 03-3936-2311

安全上のご注意（必ずお守りください）

本製品は高い品質と信頼性を有していますが、万が一、当製品が故障した場合でも、人身事故や火災事故、多大な損害の発生などを生じさせないよう、お客さまの機械・装置において安全を確保されるようお願いいたします。

また、お使いになる方や、他の方への危害、財産への損害を未然に防止するためにお守りいただくことを、次のように説明しています。本文中の注意事項についても良くお読みのうえ、正しくお使いください。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の記号で説明しています。



実行していただく「指示」内容です。



警告



交換作業は、電源を遮断してから行う。
感電の恐れがあります。



交換作業は、エアの供給を止め、圧力をゼロとしてから行う。



作業終了後、取付ねじの緩みがないことを確認する。



注意



交換作業は電源遮断後、ソレノイドの表面温度が下がってから行う。

目次

安全上のご注意	2
品番 MK0671	5
品番 MK0672, MK0673, MK0732, MK0733	9
品番 MK0674, MK0729, MK0730, MK0731	13

-MEMO-

品番 MK0671

《作業開始前》

⚠ 警告

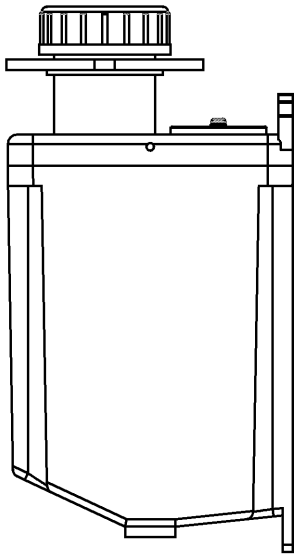
- ❗ 交換作業は、電源を遮断してから行う。
感電の恐れがあります。
- ❗ 交換作業は、エアの供給を止め、圧力をゼロとしてから行う。

⚠ 注意

- ❗ 交換作業は電源遮断後、ソレノイドの表面温度が下がってから行う。

※注意 作業開始前に、対象ユニットの設定圧力とポンプの作動頻度を記録してください。
分解時に、少量の油が周辺に漏れる場合があります。

同梱物の確認

① x 1 式	② x 3 本
	
油槽アセンブリ	十字穴付小ねじ

分解および組立に必要な工具、ウエス等については、お客様にてご用意ください。
作業を行うための作業台をご用意ください。

必要工具：十字ねじ回し 呼び番号 2

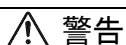
《分解手順》

1. カバーの取り外し
カバーのつまみを反時計方向に回してゆるめ、カバーを取り外します。
 2. 油の排出（図 1）
油槽下部の沈みプラグをゆるめて外し、油槽内の油を排出します。
 3. 油槽の取り外し（図 1）
3 本の十字穴付小ねじをゆるめ、油槽アセンブリを取り外します。
油槽アセンブリを外しながら油槽アセンブリに差し込まれている吸上げ用チューブを抜き出します。
- ※ 取り外した油槽アセンブリ、十字穴付小ねじは使用しません。
産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

《組立手順》

1. 油槽アセンブリの取付け（図 1）
分解手順 3 で抜き出した吸上げ用チューブを油槽アセンブリに差し込みながら取付穴をブラケットのタップ位置に合わせます。
3 本の十字穴付小ねじ②を締め付け、油槽アセンブリ①を固定します。
2. カバーの取付け
分解手順 1 で外したカバーをユニットに被せ、つまみを時計方向に回して固定します。

《交換後の確認事項》



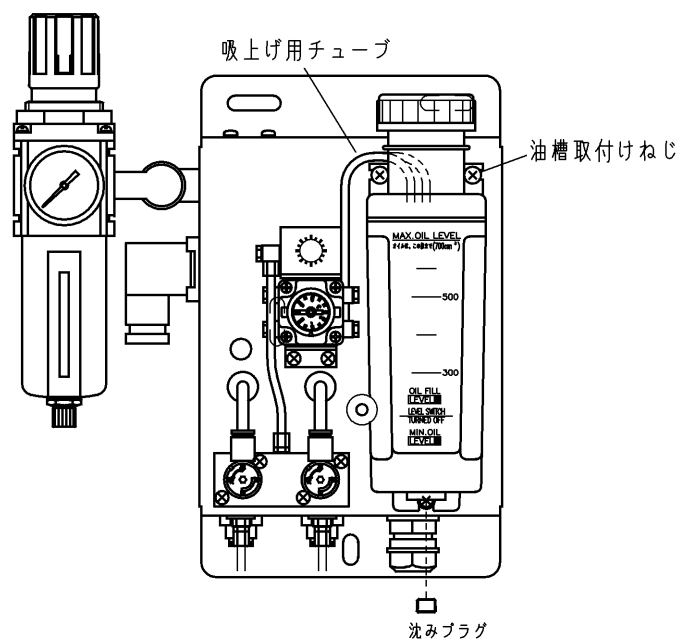
警告



作業終了後、取付ねじの緩みがないことを確認する。

電源、圧力を復帰する前に、取り付けたボルトにゆるみがないことを確認します。

図 1



-MEMO-

品番 MK0672, MK0673, MK0732, MK0733

《作業開始前》

⚠ 警告

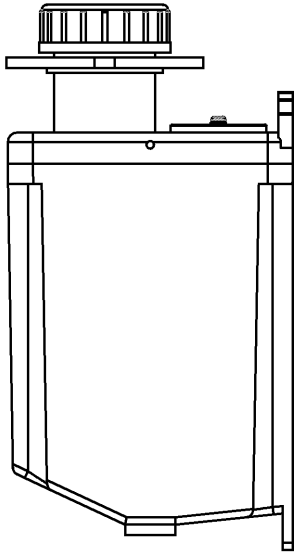
- ❗ 交換作業は、電源を遮断してから行う。
感電の恐れがあります。
- ❗ 交換作業は、エアの供給を止め、圧力をゼロとしてから行う。

⚠ 注意

- ❗ 交換作業は電源遮断後、ソレノイドの表面温度が下がってから行う。

※注意 作業開始前に、対象ユニットの設定圧力とポンプの作動頻度を記録してください。
分解時に、少量の油が周辺に漏れる場合があります。

同梱物の確認

③ x 1 式	④ x 3 本
	
油槽アセンブリ	十字穴付小ねじ

分解および組立に必要な工具、ウエス等については、お客様にてご用意ください。
作業を行うための作業台をご用意ください。

必要工具：十字ねじ回し 呼び番号 2

《分解手順》

1. カバーの取り外し
カバーのつまみを反時計方向に回してゆるめ、カバーを取り外します。
 2. 油の排出 (図 4)
油槽下部の沈みプラグをゆるめて外し、油槽内の油を排出します。
 3. 電線の取り外し
3-1. ユニット上面の止めねじをゆるめて外し、油槽背後の端子ボックスを右に引き出します。(図 2)
3-2. 端子台からレベルスイッチの配線を取り外します。(図 3)
 4. 油槽アセンブリの取り外し (図 4)
3本の十字穴付小ねじをゆるめ、油槽アセンブリを取り外します。
油槽アセンブリを外しながら油槽アセンブリに差し込まれている吸上げ用チューブを抜き出します。
- ※ 取り外した油槽アセンブリ、十字穴付小ねじは使用しません。
産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

《組立手順》

警告

-  作業終了後、取付ねじの緩みがないことを確認する。

1. 油槽アセンブリの取付け (図 4)
分解手順 4 で抜き出した吸上げ用チューブを油槽アセンブリに差し込みながら取付穴をブラケットのタップ位置に合わせます。
3本の十字穴付小ねじ④を締め付け、油槽アセンブリ③を固定します。
2. 電線の取付け
2-1. ユニット上面の止めねじをゆるめて外し、油槽背後の端子ボックスを右に引き出します。(図 2)
2-2. 端子台にレベルスイッチの配線を取り付けます。(図 3)
3. カバーの取付け
分解手順 1 で外したカバーをユニットに被せ、つまみを時計方向に回して固定します。

《交換後の試験運転》

警告

-  作業終了後、取付ねじの緩みがないことを確認する。

電源、圧力を復帰する前に、取り付けたボルトにゆるみがないことを確認します。

確認後、電源、圧力を復帰し装置を起動します。

この際、下記項目を確認してください。

1. エア漏れの有無
・パイロット弁アセンブリとスペーサの間からエア漏れが無いこと。
2. 電磁弁の作動状態
・電磁弁の駆動信号に対し、正しく作動すること。

図 2

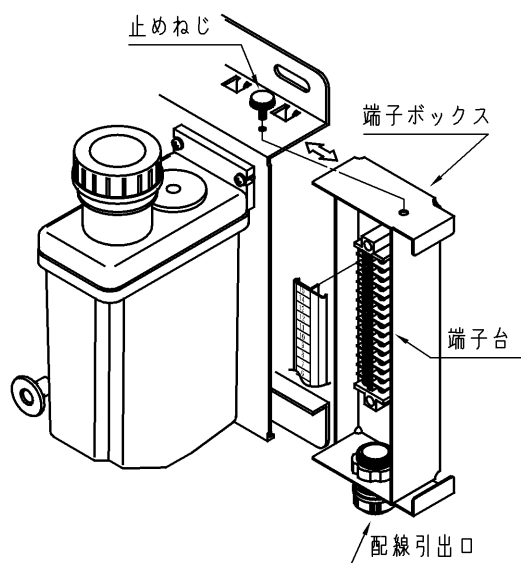


図 3

メンテナンスキット番号

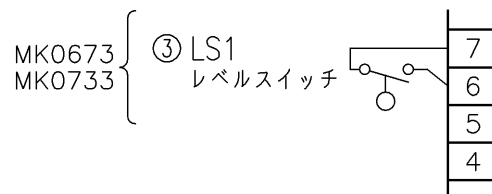
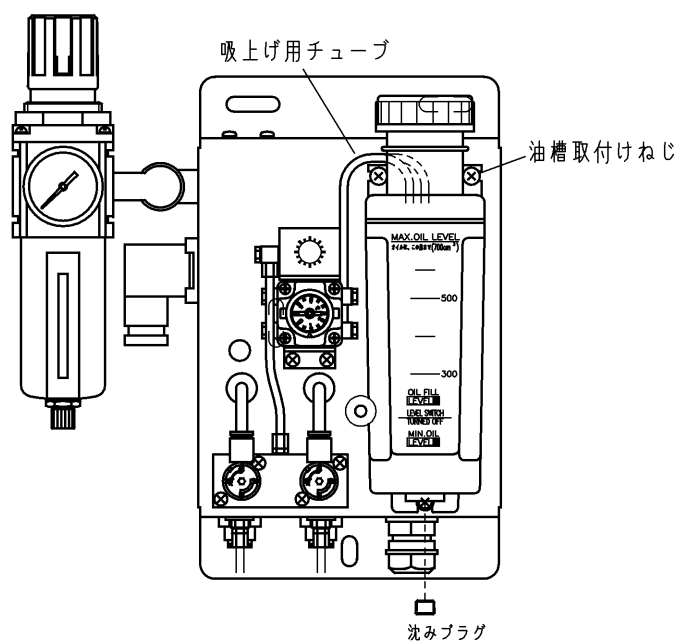


図 4



~~MEMO~~

品番 MK0674, MK0729, MK0730, MK0731

《作業開始前》

⚠ 警告

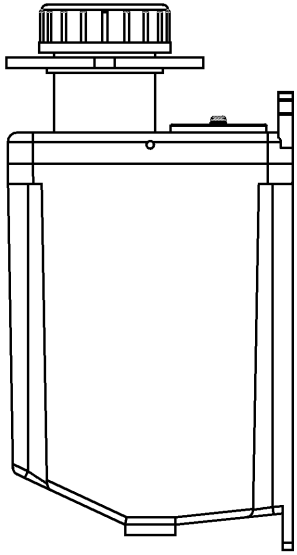
- ❗ 交換作業は、電源を遮断してから行う。
感電の恐れがあります。
- ❗ 交換作業は、エアの供給を止め、圧力をゼロとしてから行う。

⚠ 注意

- ❗ 交換作業は電源遮断後、ソレノイドの表面温度が下がってから行う。

※注意 作業開始前に、対象ユニットの設定圧力とポンプの作動頻度を記録してください。
分解時に、少量の油が周辺に漏れる場合があります。

同梱物の確認

⑤ x 1 式	⑥ x 3 本
	
油槽アセンブリ	十字穴付小ねじ

分解および組立に必要な工具、ウエス等については、お客様にてご用意ください。
作業を行うための作業台をご用意ください。

必要工具：十字ねじ回し 呼び番号 2
スパナ 対辺 12mm

《分解手順》

1. カバーの取り外し
カバーのつまみを反時計方向に回してゆるめ、カバーを取り外します。
 2. 油の排出 (図 4)
油槽下部の沈みプラグをゆるめて外し、油槽内の油を排出します。
 3. 電線の取り外し
 - 3-1. ユニット上面の止めねじをゆるめて外し、油槽背後の端子ボックスを右に引き出します。(図 2)
 - 3-2. 端子台からレベルスイッチの配線を取り外します。(図 3)
 4. 自動給油配管の取り外し
油槽上部の銅チューブ継手のナットをゆるめ、銅チューブを取り外します。
 5. 油槽アセンブリの取り外し (図 4)
3本の十字穴付小ねじをゆるめ、油槽アセンブリを取り外します。
油槽アセンブリを外しながら油槽アセンブリに差し込まれている吸上げ用チューブを抜き出します。
- ※ 取り外した油槽アセンブリ、十字穴付小ねじは使用しません。
産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

《組立手順》

警告

-  作業終了後、取付ねじの緩みがないことを確認する。

1. 油槽アセンブリの取付け (図 7)
分解手順 5 で抜き出した吸上げ用チューブを油槽アセンブリ⑤に差し込みながら取付穴をブラケットのタップ位置に合わせます。
3本の十字穴付小ねじ⑥を締め付け、油槽アセンブリ⑤を固定します。
2. 自動給油配管の取付け
 - 2-1. 油槽アセンブリ⑤上部の銅チューブ継手のナットをゆるめ、ナットとスリーブを取り出します。
 - 2-2. 分解手順 4 で取り外した銅チューブを継手に合わせ、ナットを手で仮止めします。
 - 2-3. 仮止めたナットをスパナで絞めていきます。手応えが強くなった点から 1/4 回転締めこみます。
3. 電線の取付け
 - 3-1. ユニット上面の止めねじをゆるめて外し、油槽背後の端子ボックスを右に引き出します。(図 5)
 - 3-2. 端子台にレベルスイッチの配線を取り付けます。(図 6)
4. カバーの取付け
分解手順 1 で外したカバーをユニットに被せ、つまみを時計方向に回して固定します。

《交換後の試験運転》

警告

-  作業終了後、取付ねじの緩みがないことを確認する。

電源、圧力を復帰する前に、取り付けたボルトにゆるみがないことを確認します。
確認後、電源、圧力を復帰し装置を起動します。
この際、下記項目を確認してください。

1. エア漏れの有無
 - ・パイロット弁アセンブリとスぺーサの間からエア漏れが無いこと。
2. 電磁弁の作動状態
 - ・電磁弁の駆動信号に対し、正しく作動すること。

図 5

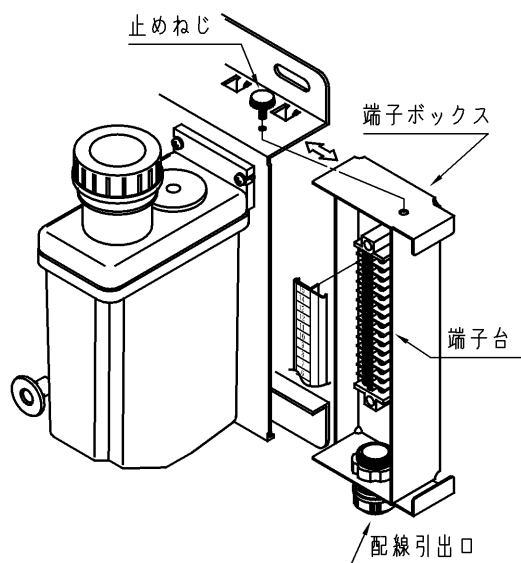


図 6

メンテナンスキット番号

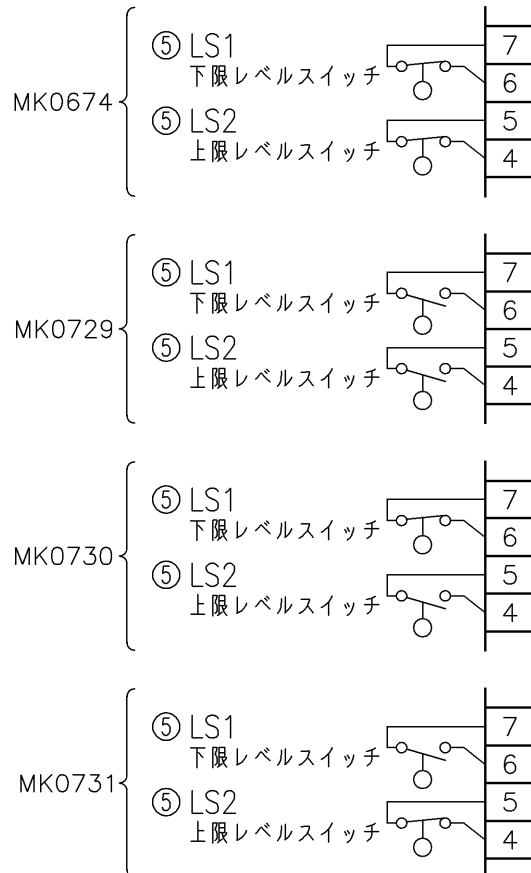
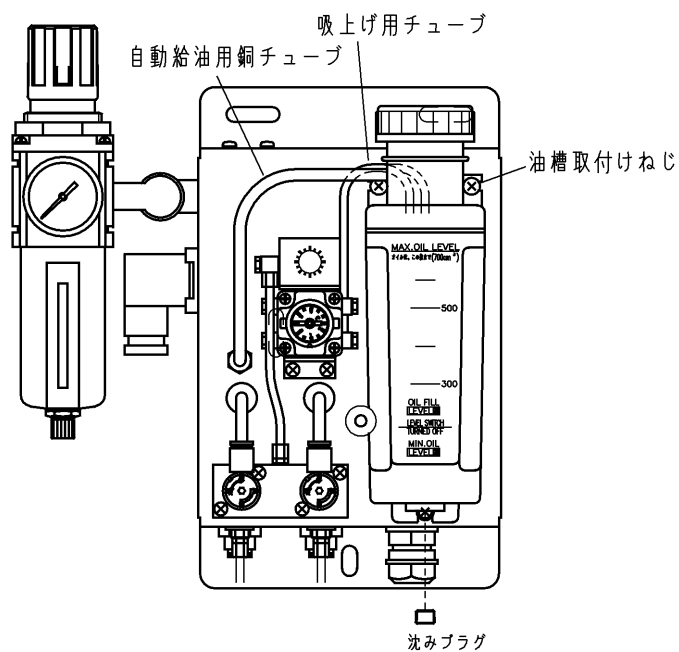


図 7



-MEMO-
